


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立町田の丘学園		通学区域	町田市全域	
	豊かな社会生活を送るための知識や姿勢を育てる学校		進路実績	知的障害教育部門:一般就労率(32.1%、企業就労希望者の94.7%) 肢体不自由教育部門:大学0名、一般就労2名、移行支援0名、福祉就労2名	
基本情報	所在地	〒195-0063 東京都町田市野津田町2003番地	電話番号	042-737-0570	
	アクセス	(1) 小田急線鶴川駅下車 0番バス停野津田車庫ゆき 野津田車庫下車(12分) (2) 小田急線・JR横浜線町田駅下車 11番バス停野津田車庫ゆき 神学校下車(10分) (3) 小田急線・JR横浜線町田駅下車 12番バス停野津田高校ゆき 野津田高校前(0分)			
本情報	設置学部	肢体不自由教育部門(小学部、中学部、高等部、訪問学級) 知的障害教育部門(小学部、中学部、高等部)			
	幼児・児童生徒数	肢体不自由教育部門(小学部:17名、中学部:14名、高等部:20名) 知的障害教育部門(小学部:114名、中学部:68名、高等部:157名)			
報	学級数	肢体不自由教育部門(小学部:6学級、中学部:5学級、高等部:7学級) 知的障害教育部門(小学部:25学級、中学部:15学級、高等部:23学級)			
	スクールバス	22台(本校舎11台、山崎校舎11台)			
その他	①特別支援学校における芸術教育の推進事業 ②スポーツ活動推進事業 ③オリンピック・パラリンピック教育の推進事業 夢・未来プロジェクト 文化プログラム				
情報	副籍実施状況	平成30年度小学部 間接交流及50% 直接交流50% 平成30年度中学部 間接交流及76% 直接交流24%			
	学校評価	回答率:(保護者78%、教員100%) 目標:保護者80%以上 指導力に関する保護者満足度96.6%			
ホームページ	http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/mysite1/introduction.html				

目指す学校 ①児童・生徒が毎日通いたくなる学校 ②教職員一人一人が自分の力を発揮できる学校 ③地域・保護者の声に耳を傾ける学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	特色ある教育活動を充実させ、児童・生徒の意欲につなげる実践の推進 「日本の伝統・文化」の考え方を学校全体の教育活動の柱とし、B部門高等部1年生に学校設定教科を開講するとともに、宿泊行事、校外学習等全ての学習活動の見直し、改善に取り組む。作業学習の充実を図り、特色ある製品づくりを進め、地域に向けた販売活動を充実させる。	「日本の伝統・文化」の考え方を教育活動の柱とし、多彩な教育活動を展開した。B部門では高等部に学校設定教科として学びを深めるとともに、外部から「狂言」「能」「落語」「和楽器」や「紙芝居」「書道」等、多様な講師を招き、学校全体で興・味関心を高めた。この経験を土台に、次年度以降の学習を充実させる。 宿泊行事では、B部門高等部2年生の、関西方面への修学旅行での「お笑い体験」等、工夫ある学習に取り組んだ。作業学習では「地域おやつ便」に取り組み、生徒のやりがい育てるだけでなく、地域に本校の教育を浸透させた。	
目標②	学校の安全・安心を地域の安心・安全につなげる実践の実現 昨年度まで9月に実施していた宿泊防災訓練を1学期に実施する。また、毎月実施する避難訓練をより実効的な内容に工夫することで、学校全体の防災意識を高め、対応力を高める。常勤系教員の救命技能認定証の保有率を高め、誰でも有効な初期対応ができる体制を構築する。	今年度よりA部門、B部門高等部1年生を対象とした宿泊防災訓練を令和元年6月28日(金)29日(土)で実施した。所轄の消防署や地域の消防団の協力を得て充実した訓練を行うとともに、新1年生が初めて寝食を共にする体験を積み貴重な経験を積んだ。早期に宿泊防災訓練を実施することで、学校全体の防災意識が高まり、その後の月一回実施される避難訓練の充実につながった。救命技能認定証の保有率は61%まで高まった。本校の取り組みに対し、東京消防庁より「救命講習受講優良証」を事業所として発行された。これにより、本校の防災に関する取り組みが見える形で評価され、更なる防災意識の高まりと、率先して児童・生徒を守る自覚と意欲向上につながった。	
目標③	様々なニーズ対応の迅速化にむけた取り組みの充実 学校評価アンケートの実施を11月から7月に変更することで、同年度内に課題解決を実施し、保護者からの改善要望に迅速に対応できる組織づくりを進める。情報発信の多様化、複線化を図り、様々な情報が迅速に保護者、地域に届けられるシステムを構築する。	1学期内に学校評価アンケートを実施し、年度内に改善報告等を実施した。これにより、最上級学年であっても、「気づいた課題」がどうなったか一定の回答を得て卒業を迎えることができるようになり、好評であった。学校評価の流れが変わったため、保護者アンケートの回収率が一時的に低下したが、今年度得た好意的な意見を土台に、次年度以降の回収率向上につなげ、学校改善につなげる。 情報発信の多様化は、Twitterの積極的な活用等に取り組み、保護者より好評を得ている。防災に関連する情報発信は定型化し、精度や情報提供の速度が高まり、より円滑なシステムへの改善を進めている。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	指導力に関する保護者満足度を「十分満足」50%以上とし「満足」の割合と合わせて90%にする。	90%	93.5%	90%	93.0%	90%	96.7%	95.0%	97.7%	95.0%	95.0%	95.0%
目標②	キャリア教育に関する保護者満足度を「十分満足」50%以上とし「満足」の割合と合わせて85%にする。	90%	86.7%	90%	86.8%	90%	85.7%	90.0%	94.3%	90.0%	90.0%	90.0%
目標③	セミナーや研修等の参加者満足度を「十分満足」50%以上とし「満足」の割合と合わせて85%にする。	85%	91.0%	85%	94.5%	85%	92.0%	95.0%	92.4%	95.0%	95.0%	95.0%



都立町田の丘学園 変わるまちおか 基礎がため

平成35年の新校舎完成を目指し変化を続けます。平成30年度が初めの一步。今年を「基礎がため」と位置付け取り組みます。

豊かな社会生活を送るための知識や姿勢を育てる学校

平成30年度学校運営連絡協議会の提言を受け て

○安全・安心な学校づくりの推進

日常の危機管理を共有し、安心して安全な学校をつくります。改築工事が本格化する中で、安全確保、児童・生徒の精神的なケアに努めます。

○教育内容の充実改善

外部専門家の助言を活用し、丁寧な指導を実践します。達成感のある授業づくりのための、教材づくりや指導法の向上に努めます。

○小学部から高等部までのキャリア教育の充実

児童・生徒自身が理解し、考察できるキャリア教育の実現を目指します。卒業後の生き方に結び付けられる授業づくりを進めます。

○学校の説明責任を果たす情報発信の改善

学校だより等の各種たよりや、ホームページを活用した情報発信を積極的に行います。

※8名の学校運営連絡協議会委員のうち、7名の方から「学校が良くなった」との評価をいただき、1名の方から「多少良くなった」の評価をいただきました。

特色ある教育活動を、児童・生徒の意欲につなげます

- 知的障害教育部門高等部に学校設定教科「日本の伝統・文化」を開講し、地域に根差した人材育成や国際化への対応を進めます。
- 町田市保健所より正式に取得した「菓子製造営業許可」を生かし、作業学習等を改善し販売活動を充実させ、達成感のある授業づくりと地域活性を推進します。
- 気付きや発見がある授業で学びを深めます。
- 学区域（町田市）及び近隣地域での生活の充実を目指し、自信をもって社会へ巣立つ児童・生徒を育むため、地域に根差した教育活動を進めます。

学校の安心・安全を地域に安心・安全につなげます

- 災害対応能力を高めるため、避難訓練等の充実に努めるとともに、常勤系教員全員の救命技能認定証の保有を目指します。
- 町田市役所や小・中学校、大学、福祉施設等との様々な活動を通じて「顔の見える防災組織」を構築し、地域防災の推進に役立ちます。

様々なニーズ対応に迅速に取り組みます

- 学校評価アンケートの実施時期を早くし、御意見、御要望に迅速に取り組みます。
- 情報発信の多様化、複線化に努め、迅速な情報発信に努めます。